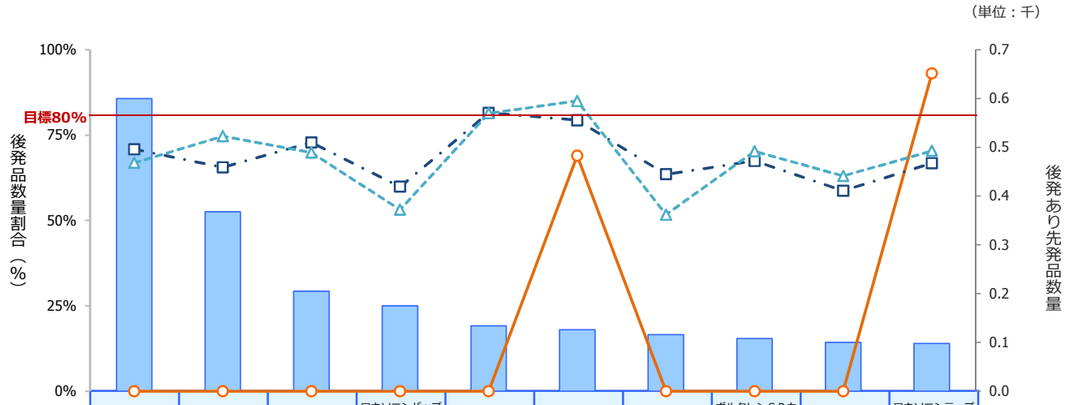
6.貴薬局における後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品

後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品をお知らせします。
国目標80%に達していない医薬品は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



	ウラリット配合錠	アザルフィジンEN錠５００mg	ユリノーム錠２５mg	ロキソニンパップ１００mg　１０cm×１４cm	アマリール０．５mg錠	グルコバイ錠１００mg	リピディル錠５３．３mg	ボルタレンＳＲカプセル３７．５mg	ボルタレンゲル１%	ロキソニンテープ１００mg　１０cm×１４cm
後発あり先発品数量	600	368	205	175	134	126	116	108	100	98
数量割合 後発品 貴薬局	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	69.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.0%
数量割合 後発品 県平均	66.9%	74.7%	69.9%	53.1%	81.4%	85.0%	51.7%	70.3%	63.0%	70.4%
数量割合 後発品 全国平均	70.9%	65.5%	72.8%	59.9%	81.5%	79.4%	63.5%	67.4%	58.7%	66.8%

先発品から後発品に変更後、患者に副作用が発生した場合の責任は？

医師が先発医薬品を適正に処方し、変更不可欄に「レ」または「×」の印等のない処方箋について、薬剤師が適正に先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した場合には、仮にその医薬品により副作用被害が発生したとしても、医師や薬剤師にその副作用の責任が生じるものではありません。

適正に使用したにもかかわらず副作用による一定の健康被害が生じた際には、先発医薬品、ジェネリック医薬品のいずれの使用であっても、製造販売業者の社会的責任に基づく拠出金等を財源とした「医薬品等副作用被害救済制度（※）」の対象となり得ます。ジェネリック医薬品であるという理由で救済制度の対象から外れるということはありません。

※医薬品等副作用被害救済制度についてはPMDAのホームページをご覧ください。

厚生労働省：「ジェネリック医薬品への疑問に答えます　～ジェネリック医薬品Q&A～」より

別添１－２

ジェネリック医薬品に関するお知らせ

～貴薬局の調剤状況について～

〒 862-8520
熊本市中央区水前寺1-20-22

●●●●●●●●薬局　御中

全国健康保険協会　　熊本支部
〒862-8520
熊本市中央区水前寺1-20-22
水前寺センタービル　2階
TEL：　096-340-0261

全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営につきまして、平素より格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年6月の閣議決定において「2020年9月までにジェネリック医薬品（以下、後発品）の使用割合を80%以上とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」と定められました。

協会けんぽといたしましても、加入者の方のお薬代や保険料の負担軽減に繋がることから、後発品の普及促進の取組を積極的に進めています。この取り組みの一環として、協会けんぽ加入者の方のレセプトを集計し、地域における後発品使用割合等について、薬局様へ情報提供を行っております。

後発品の取扱をご検討される際の参考資料として、ご活用いただければ幸いです。

1.協会けんぽ加入者への調剤状況

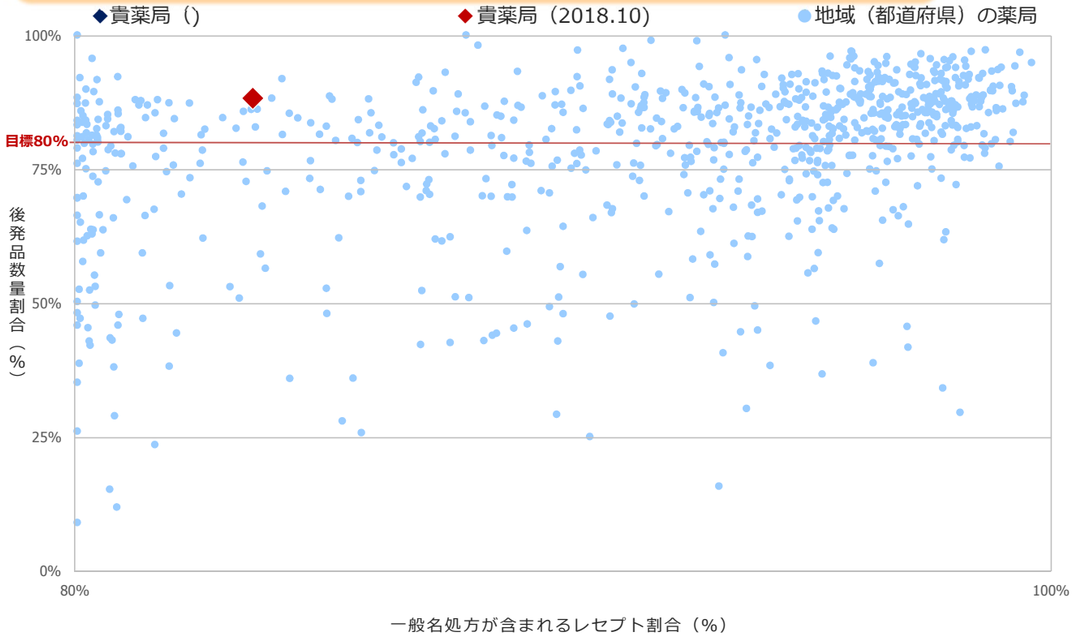
「貴薬局」「二次医療圏」「県平均」の後発品にかかる調剤状況をお知らせします。

	●●●●●●●●●薬局	貴薬局	二次医療圏平均	県 平 均
人数	貴薬局にて調剤した協会けんぽの加入者数	264 人	258 人	232 人
	後発品を調剤した加入者数	229 人	210 人	190 人
	後発品を調剤した加入者割合	86.7 %	81.5 %	82.0 %
数量	貴薬局の調剤数量	50,310	34,525	31,282
	後発品のある先発医薬品の調剤数量	4,226	4,762	4,539
	後発品の調剤数量	32,090	18,741	16,984
	後発品数量割合	88.4 %	79.7 %	78.9 %
金額	貴薬局にて調剤した医薬品の薬剤金額	1,979,426 円	1,857,215 円	1,566,884 円
	後発品の薬剤金額（10割）	585,654 円	343,860 円	312,985 円
	後発品金額割合（10割）	29.6 %	18.5 %	20.0 %

※本紙に掲載している情報は、協会けんぽ 平成30年10月診療分の調剤レセプトにもとづいて作成しています。

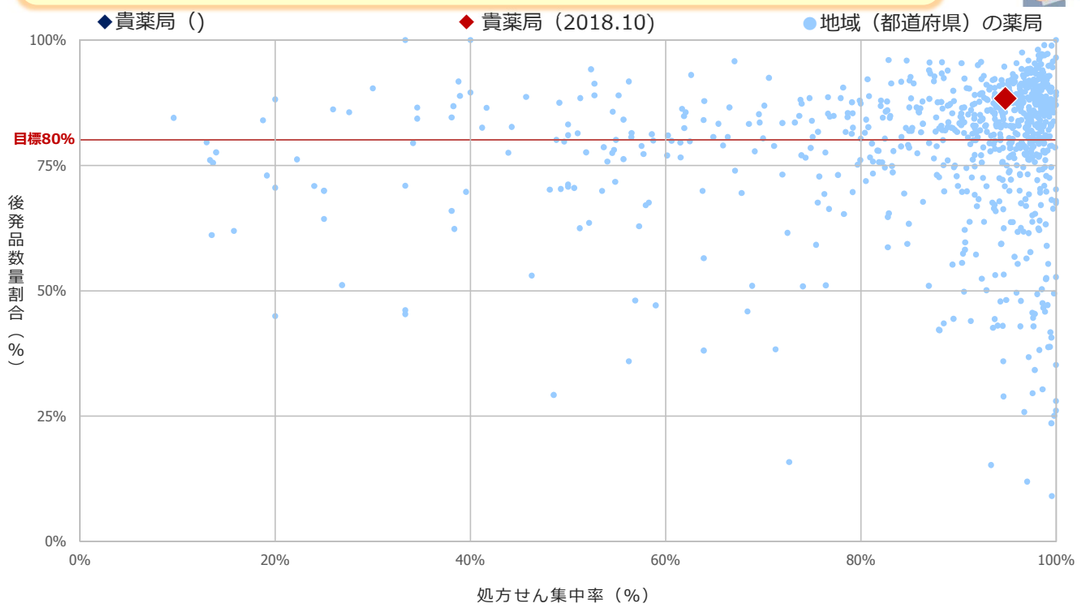
2.後発品数量割合と一般名処方が含まれるレセプト割合による貴薬局の位置づけ

「後発品数量割合（縦軸）」と「一般名処方が含まれるレセプト割合（横軸）」をもとに
貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にしていただくとともに、
さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。



3.後発品数量割合と処方せんの集中状況による貴薬局の位置づけ

「後発品数量割合（縦軸）」と「処方せん集中率（横軸）」をもとに、
貴薬局の位置づけをお知らせします。地域の後発品使用状況を参考にしていただくとともに、
さらなる後発品の使用促進にご協力をお願いします。

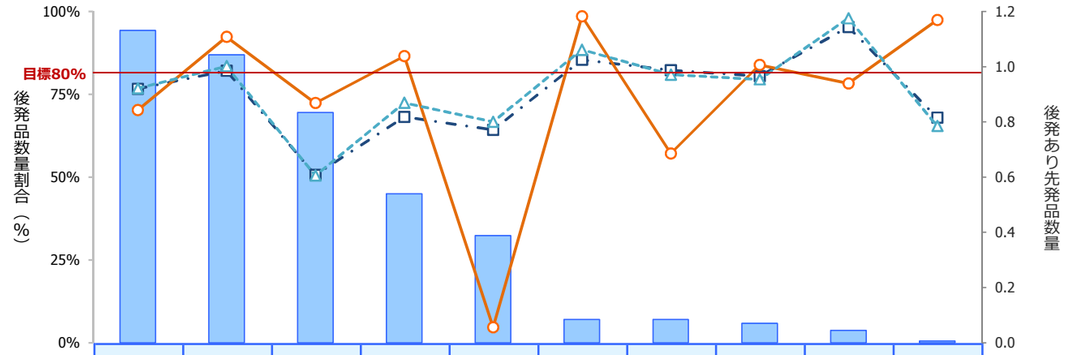


※処方せん集中率は、主たる医療機関（処方せん発行数が最大の医療機関）からのレセプトが占める割合

4.貴薬局の薬効分類別後発品数量割合

貴薬局における「後発あり先発品」の数量が多い薬効分類上位10種をお知らせします。
国目標80%に達していない薬効は、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。

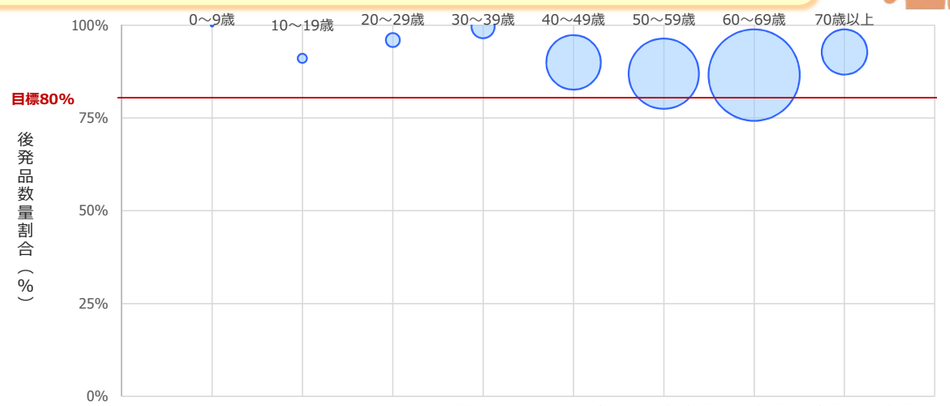
（単位：千）



		その他の代謝性医薬品	循環器官用薬	外皮用薬	中枢神経系用薬	化学療法剤	消化器官用薬	滋養強壮薬	呼吸器官用薬	ホルモン剤	抗生物質製剤
	後発あり先発品数量	1,131	1,043	834	540	388	84	84	70	45	6
後発品数量割合	貴薬局	70.2%	92.3%	72.4%	86.5%	4.7%	98.5%	57.1%	83.8%	78.3%	97.4%
	県平均	76.8%	83.5%	50.5%	72.4%	66.7%	88.4%	81.0%	79.5%	98.0%	65.5%
	全国平均	76.7%	82.1%	50.6%	68.2%	64.3%	85.4%	82.3%	80.5%	95.3%	67.9%

5.貴薬局の年齢別後発品数量割合

貴薬局における年齢別後発品数量割合をお知らせします。
国目標80%に達していない年齢については、特に後発品の使用促進にご協力をお願いします。



※円の大きさ＝後発あり先発品数量＋後発品数量

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
数量①＋②	15	157	377	1,010	5,666	9,382	15,813	3,897
①後発あり先発品数量	0	14	15	4	566	1,224	2,122	281
②後発品数量	15	143	362	1,006	5,100	8,158	13,691	3,616
後発品数量割合	100.0%	91.1%	96.0%	99.6%	90.0%	87.0%	86.6%	92.8%